

# ヤマユリ

Lilium auratum Lindl.

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

本県では産地がきわめて限られ、小さな個体群であるとともに、減少傾向にある。(現況:R-)

## 形態

草丈は1~1.5mになり、葉は互生で多数着き、長さ10~15cmで短い葉柄がある。花は数個が横向きに着き、雄大である。花被は外花被片3、内花被片3の6枚よりなり、内花被片がやや幅が大きい。長さ10~18cm。花被片は白色で赤褐色の斑点があり、中肋にそって黄線が入っている。花粉は赤褐色。鱗茎は黄白色の偏球形で直径6~10cm。蒴果は長さ5~8cm。

## 国内分布

東北から近畿にかけては普通であるが、北海道、北陸・中国地方、四国、九州、琉球には自然分布せず、もし、あれば栽培品の野生化であるとする説がある。事実としては、北陸、四国、九州からも報告がある。日本特産の植物である。

## 県内分布

口能登区。石動山のみ産し、自然分布か栽培品の野生化かについて議論がある。

## 生態など

自然状態の個体数はきわめて減少し、人為的繁殖が試みられている。開花期7~8月。

## 生育環境

山地。

## 危険要因

産地局限、園芸採取、管理放棄。



白井伸和・2001年7月16日

分布図はありません。

県内の分布